



平成25年9月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



鷹山宇一 「樹林・花と蝶」 (キャンバス油彩 制作年不詳【1960年代】)

## 「鷹山宇一の花と蝶」

鷹山宇一は花と蝶を主題とした絵画を多く制作してきた。

宇一の手による花と蝶を主題とした絵画は、活けられた花とその周囲を飛び交う蝶、そしてその背景の多くに自然風景が描かれている。活けられた花を中心に考えてみると、花と蝶は「静」と「動」の対比となる。花を自然風景と対比させた場合、活けられた花は人の手の加えられた「人工物」となる。

また、この花と蝶の二つは明るい色調で細かい描写がされ、目が行く様描かれているが、同じ位置にあるはずの花瓶は、奥の風景と同じように逆光によりシルエツトとなっている。対比に注目して考えてみた場合、これらの絵画は、決して見たとおりには描かれたものではなく、宇一によって手が加えられた存在であると考えることができる。宇一は戦前、近代性に特化した表現のため、建築を研究し、その成果を併用した木版画を制作していたが、幻想性漂うこれら作品群からも、その痕跡を感じることができるのではないだろうか。

花を中心とした画面は、左右対称となっているが、不規則に配置された蝶によつて、その均衡は崩され、絵に動きを出すことに成功している。宇一の花と蝶を主題とした絵画は、対象の美しさによる美ではなく、対象となる事物を組み合わせることによつてその美が構成されているわけである。

宇一が戦前木版画を制作するため近代性の象徴としていたであろう都市や機械も、人によつて構成され、都市や機械となったといえないだろうか。

視点により対象は在り方が幾通りにも変化するが、同様に何に着目するべきか、それによつて絵画全体の見え方も、幾通りにも変化するだろう。絵画の鑑賞の仕方は人により異なるが、同じ絵を再度見直すことで発見することもあると思う。是非1度といわず2度3度と鑑賞して頂きたい。

(学芸員 奥山庸子)

# わたしのおすすりめ美術館

## 香月泰男美術館訪問記

十和田市 小向 慎



香月泰男美術館

七月の山口は暑い！  
山口県長門市三隅中湯免。  
香月泰男美術館を思い出すとき、  
白く乾いた坂道、照りつける太陽、  
音のない町並み、少しでも日の当らないところを歩こうと日陰を辿った  
ことが浮かんでくる。  
温泉街のくねった坂道を小高い丘

に向っていくと白いモダンな建物に出会う。オシャレだ。

玄関を入った時柔らかな空気を感じた。程よく空調が利いているのだがそれとは違うものだった。

シベリア・シリーズの厳しい絵が意識の中にあり、知らず知らずのうちに身構えていたのがロビーの雰囲気でもっとしたのかもしれない。それぞれ趣の違う展示室が大きな樹のある中庭を中心に連なっていて、巡りながら次々と作品を見せてくれる。

その中に、香月が子どもたちのために作ったというオモチャの作品の種類と数が凄い。ブリキや木片を用いた二〇センチほどの高さの音楽隊のグループ、人形のほかフクロウ、イノシシ、ウサギ、カブトムシなど動物や虫がさまざまな形で並んでいたり宙に遊んでいたりする。

復元されたアトリエ（ドアの外から覗くだけ）には太い煙突のストロブ、画架、額縁の入った段ボール箱、絵具の瓶の並ぶ棚、そして一角にはオモチャを作るためのコーナーがあり、作りかけのおもちゃと道具の数々が整然としていて画室というより工房、作業場のようだ。

旅行好きの香月のパリの屋根を描いた絵やスケッチがあったが、少しでも煙突が近く見えるようにと、ホテルの最上階の屋根裏のような部屋に泊まったこともあるそうだ。

美術館の上階に展望室がある。丘の上に建っているので四周が見渡せるようになっていて、窓際に小さいテーブルと椅子が置いてあり座って



復元された香月のアトリエ

ゆつくり眺めることができる。  
窓の上の方に方位を示す文字があり、ホロンバイル、シベリヤ、インパール、ガダルカナル、そしてサンフランシスコとある。

ホロンバイル、シベリヤは敗戦後の日本軍がソ連軍に強制的に送り込まれ過酷な労働をさせられた地であるが、インパール、ガダルカナルは第二次世界大戦の南方の激戦地で、日本軍が惨状につぐ惨状で壊滅したと言われる地であり、そしてサンフランシスコは講和条約の結ばれた所である。香月の思いの込められた地名なのだ。

家族を愛し三隅の街を愛し、この五つの方位に含まれた三隅を「私の地球」と香月は言っている。

シベリア・シリーズについて立花隆は、「香月の絵は三次元的であるため、二次元の平面図には移しきれないものがある。絵だけでは伝えきれない情念のかたまりである」と語

### 香月泰男美術館へは

- 住所 759-3802 山口県長門市三隅中湯免226
- 開館時間 9:00~17:00
- 休館日 毎週火曜日 (ほか年末年始等、詳細は年間予定表参照)
- 入館料: 一般500円 TEL 0837-43-2500
- メール kazuki@city.nagato.lg.jp
- ホームページ <http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/~kazukiyasuo/index.html>

(写真: 香月泰男美術館リーフレットより転載)

っているが、一見、土色、黒で描かれていた大部分の絵の、その色が想像できないほどの土色、黒で表されているというのだ。  
シベリア・シリーズの絵五七点は山口県に寄贈されていて、ここには少ししか展示されていなかったが、山口県立美術館では見ることができると館の方が教えてくれたので、日程を変えて翌日は山口市に向った。  
県立美術館には常設展示の部屋があり、シベリア・シリーズ五七点は六回に分けて全部見せるそうで、行った時は「運ぶ人」「北へ西へ」「乗客」「点呼」などが飾られてあり、平日であったが一人、又一人と見る人がきていた。  
重い重い絵である。ずっしりとしみ込み考えることを強要する絵だ。  
・凍土に香月祈りし未来あり

心の絆を深めた

### 南部藩児童交流

八月四日(日)午後十二時四十分頃、遠野市及び七戸町の児童四十二名が当美術館に来館いたしました。

館長の歓迎の挨拶の後、幻想画家鷹山宇一の初期から晩年に至る作品を中心とする

常設展「鷹山宇一の世界展」及び蒐集した西洋ランプを鑑賞しました。

次に、町内にある見町観音堂や小田子不動堂に奉納されている南部小絵馬など国指定重要有形民俗文化財を保管・展示している絵馬館に移りました。

ここでは、奥山学芸員が「数多くの牧場を有する南部藩には、馬に関する文化が残っており、遠野市や八戸市、七戸町の南部小絵馬は、まるで同じ人が描いたような特徴を持つたものが多くあり、おそらく昔から



ランプ館での観察

交流があったものと考えられます。』とクイズ形式で解説しました。真剣な眼差しで熱心に耳を傾けていた小学生の皆さんには感心させられました。質問の内容が質的に高いものばかりだったからです。

また、印象深かったのは、自分たちの故郷の歴史や史跡について「確かな学び」をしていることでした。綾織小学校のある児童に「五百羅漢」について質問したところ、『昔、大飢饉があつて多くの人が亡くなりました。大慈寺の和尚さんがお経を読みながら石に像を彫つたと聞いています。』と、自信を持ってはつきりと答えてくれました。



羽子板や絵馬の観察



南部小絵馬の解説



遠野使節団とお別れ

これからも、南部藩児童交流が、故郷を知り、紹介し合い、もう一度故郷を見つめ直す価値ある機会となることを願っています。

### インターンシップ

野辺地高等学校の生徒受け入れ

六月十九日(水)から三日間、二年女子二名を受け入れて、インターンシップを実施することとなりました。

実践的体験を通じて将来の進路について望ましい職業観を身に付けていただくために、当美術館として相応しい体験内容を提供することにいたしました。

前半は、鷹山宇一のアトリエの組み立てであり、後半が特別企画展「現代女流作家展」の監視ボランティアへの粗品として贈る自作の手提げ袋の作製です。

アトリエづくりは、慣れない手つきでの釘打ち、柱立て、部屋づくりなど結構難しい作業です。それにもめげずに学芸員などの職員に聞きながらコツコツ取り組む積極的な態度には感心いたしました。

休憩時間にも笑顔絶えずことなく二人仲良く会話を過ごしていただきました。

アトリエが完成した後、手提げ袋づくりに移りました。



部屋づくり

最初に絵柄を考え、シルクスクリンとして形を描き、布に転写す1927方法で五十枚ほど作製しました。この絵柄の手提げ袋は、生徒さん自身が考え、工夫を凝らしたものであり、作品の出来映えに満足し、満面の笑みを浮かべていました。



シルクスクリンでの形づくり

また、手提げ袋をいただいた方々から異口同音の感謝の言葉が当美術館に寄せられました。



完成した手提げ袋

三日間の充実した体験活動を通して、清楚な生徒さんが笑顔で人に接したり、熱心に仕事に打ち込んだりする姿を見て学ぶことが多々ありました。

今後、お二人の生徒さんが自分を磨き、「自分力」をさらに高め、有為な人材として成長していただくことを切に願っています。

また、当美術館をインターンシップの事業所として選定して下さった野辺地高等学校に謝意を表したいと思えます。



# ●美術館日誌●

## 〔6月〕

4日(火)友の会との会報打ち合わせ／7日(金)評議員選定委員会。3館連携打ち合わせ(現美にて)船山館長、奥山学芸出張／8日(土)理事会／10日(月)野辺地高校インターシッポ打ち合わせ／13日(木)友の会総会／17日(月)福祉施設・保育園等観覧日／19日(水)野辺地高校インターシッポ(21日まで)／23日(日)WSミニチュアガーデン作り／24日(月)まちづくりチャレンジ事業実行委員会(商工会館)船山館長出席／25日(火)県立郷土館H25総会(船山館長出席)

## 〔7月〕

1日(月)・2日(火)船山館長東京出張／3日(水)RAB本社訪問(船山館長、奥山学芸員)／5日(金)県美オーブニングセレモニー(船山館長出席)／6日(土)WSせんべいストラップ作り(洞内小24名来館)／9日(火)まちづくりチャレンジ事業第1回幹事会(商工会館)船山館長出席／10日(水)パステルアート講座(保育士対象)／17日(水)県庁総務部学事課へ船山館長出張／19日(金)三役会議／20日(土)理事会／21日(日)七彩会油画教室開催／24日(水)WSアルバム教室／26

日(金)遠野市受け入れ打ち合わせ(生涯学習課来館)／27日(土)WSダンボールハウスをつくらう(南公民館)／30日(火)七戸教育委員会「ふるさと研修」30名来館。まちづくりチャレンジ事業(商工会館)船山館長出席

## 〔8月〕

4日(日)南部藩児童交流／9日(金)しちのへオータムフェスタ打ち合わせ(南公民館)船山館長、西野教育普及員出席／11日(日)WSシルバークセサリー作り／18日(日)七彩会油画教室開催／20日(火)JAF優待施設連絡会(アツパルパレス)船山館長出席／21日(水)3館連携バスツアー打ち合わせ十鉄来館／24日(土)WSキャンドル作り(千歳平小)瀬川教育普及員、西野教育普及員出張



WSミニチュアガーデン作りの作品と参加者



## 今期を振り返って：

6、8月はワークショップが充実した3カ月となりました。

今年新たに企画したミニチュアガーデン作りは、子どもから大人まで様々な年代の参加者が集まり、賑やかなワークショップとなりました。各自で持ち寄った器(茶碗や空き瓶など)に植物を入れ、リボンやボタンなどの自由な素材でデコレーションしていきます。参加者全員が作業に集中してオリジナリティー溢れる作品に仕上げていました。

せんべいストラップ作り、キャンドル作りなど、小学校からのレクリエーションの依頼もありました。キャンドル作りでは、大量のろうそくを切る・溶かす作業を、生徒や父母、先生が和気あいあいと協力して行い、一体感のある現場を体験することができました。

参加者や講師の皆さんの温かいご協力があり、7つの個性あるワークショップを楽しく終えることができました。上半期の一つ一つの貴重な経験をもとに、下半期は参加者全員に満足していただけるよう、さらにワークショップに力を入れていきたいと思えます。

(西野雅代)

秋の特別展のご案内

10/5(土) ↓ 11/4(月・祝)

第73回国際写真サロン展

第30回日本の自然写真展

国内では最も権威ある写真コンテストとして知られる国際写真サロン。国内外、プロ・アマチュア問わず、写真表現の可能性に挑戦した作品を広く募集、今回も海外40カ国から5,972点、国内から3,323点、総計9,295点の応募がありました。その中から、写真家の田沼武能氏ら11人が審査した、審査委員特別賞6点を含む入賞作品全130点を紹介します。



▲第73回国際写真サロン審査委員特別賞受賞

- ① Dong Khanh Nguyen (Vietnam) 「TRE EM VUNG CAO」(高地の子どもたち)
- ⑩ 石橋哲子「ヒーロー」

●国際写真加展入館料●

一般500(400)円、学生300(240)円、小中学生100(80)円 ※( )内は20名様以上の団体、県民カレッジ受講者、JAF会員割引料金。友の会会員は特典とおりご入館いただけます

また今年には、併設で開催することになりました、第30回日本の自然展も10月11日から25日までご紹介いたします。

11/9(日) ↓ 2013 1/26(日)

第13回鷹山賞児童作品展 & 地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展

今年から、募集範囲が青森県の南部地方から県全体へと広がった鷹山賞ですが、現在美術館ではごくごく児童生徒達の力作が届いて来ています。成長して大人になっていく過程で、自由に絵を描くということとはなかなか難しいものになってしまいがちですが、子供たちの絵から描くことについて何かみえてくるものがあるかもしれません。冬的美術館へ子どもたちの絵を見に来てみませんか？

ぐれっとバスツアー

今年も寺山修司記念館と十和田市現代美術館との3館連携事業としてあおもりアートぐれっとパスを発売いたしました。昨年と変わって常設展のみとなつてしまいましたがなんと今年度は、11月4日までの期間であれば3館に何度でも入館いただけるパスとなります。日中ぼーっとしたい時や、一つの作品だけを鑑賞したい時等、贅沢な使い方でも気軽に楽しむことができます。これに伴い、今年も一日で3館をまわるバスツアーがはじまりましたので、9月1日に開催された1回目のツアーの様子をご報告させていただきます。

当日はあいにくの曇り模様で、いまにも雨が降るのではといった天気でしたが、幸いにも雨に降られることはなくツアーを行うことができました。

参加者は4名と少人数でしたが、直接お話しを伺いながらまったりとした時間を共に過ごすことができました。十和田市現代美術館ではポリウム満点の常設展を鑑賞し、参加者の方



へ、少人数ならではのサブライズとして特別に手作りリコサージュのプレゼントがあります。ツアーのお楽しみのお昼

ご飯ですが、車内で景色を楽しみながら皆様とお弁当をいただきました。これは十和田市にある、ハピたのかぶえというところの地元食材でつくられたお弁当で、ゴボウのハンバーグやミョウガのお総菜など、旬の野菜満載の内容となっていました。



寺山修司記念館では、寺山修司の子供の頃の話しを聞き、森の中を散策しながら本のカタチをした記念碑の前で皆様と写真をとりました。普段は館内で販売していないというテラシューを食べながらまったりティータイムを過ごし、最後の目的地である鷹山宇一記念美術館へとむかいました。

当美術館では現在公開中のアトリ工を再現したスペースをながめたり、鷹山宇一のデッサンを見ながらその方法について皆様からいろいろ意見がでてきたりとユニークな鑑賞ツアーでした。

ぐれっとバスツアーは10月・11月にも開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

ぐれっとバスツアー

10月19日・11月13日開催。解説やオリジナルスイーツなどツアー特典、パス券付きで一般3,000円。(パス持参の方は2,000円)

お問合せ/予約 美術館0176-62-5858

鷹山宇一記念美術館収集作家の一人である鳥谷幡山のお孫さんで当美術館開館に際し、幡山作品を多数寄贈下さいました野谷善達氏から頂きました投稿をご紹介します。

## 海外駐在余話・その2

神奈川県二宮町 野谷善達

あの手この手の海外の泥棒たち

### ○パリ編

美術館巡りの途中、ひと気のない交差点で信号を待っていたところ一人の男が寄ってきて大きな金色のコインを見せて「そこでこれを拾ったがお前のものではないだろうか？」と尋ねてきた。勿論、私は心あたりがないので「いいえ」と答えて早々に彼から離れた。はたして、「それは俺のだ」と言う人がいるのであるうか。

別の機会に街を歩いていたら一人の男が寄ってきて道を尋ねてきた。なぜパリで東洋人に道を尋ねるかと思いつつも、当方は地図を広げ彼の行きたい方向を教えてあげた。当方の行く方向と違っているのになぜか当方の後をついて来る。そのうち、忽然と二人の男が現れその男を捕まえた。そして、その二人の男はパリの警察のものだと警察手帳もどきをチラリと見せて、私に「この男は泥棒で捕まえた。先程この男と話をしていたのでお前も仲間ではないのか？」と尋ねた。当方は勿論、仲間ではないと言ったところ「一応

調べる必要があるのでは お前のパスポートと財布をここで見せろ」と言い出した。パスポートの提示は一応理屈に合うが財布を見せろというのはおかしな話である。新手の詐欺と感じたので「ポリス！」と本当のポリス呼びながら人気の多い方向へ逃げたところ男たちは追ってはこなかった。

### ○ミラノ編

イタリアはフランスに劣らずスリ、泥棒で名高いのでイタリアに行った時、用心の為に団体旅行で廻った。ミラノでは街中の見学中は先頭を歩く案内役のガイドのほかに団体の一番後ろを歩く用心棒(?)がガイドが付いた。団体行動のあと自由行動の時間に地下鉄に乗ろうとした。切符を買って、地下道を通ってプラットホームに向かう。地下道から上階のプラットホームへ行くエスカレーターがあり、二人の男が私の前にエスカレーターに乗った。そばにいた別の一人の男は、わざわざ「お先にどうぞ！」という感じで、私に先に乗ったと言ってくれたので好意に甘え乗った。イタリア人は親切だと思いつつ、エスカレーターが 終わりに近づいた頃「チャリン！」という音と同時に私の前の二人の男が中腰にながら足元で何かを探し始めた。しかし当然エスカレーターは止まらず一番上に到着しました。しかし、私の前の男二人は、中腰の姿勢のままエスカレーターから決して離れようとしないう。私は仕方なく前の二人を跨いでエスカレーターから降りようとしたが、男二人は明らかに私の行

動を妨害したので私は彼らの上に乗っかる格好となった。その時突然私の後ろの男も私の上に乗っかってきた。そして何故か私のズボンのポケットの中に手を差し込んで財布を抜こうとした。数秒間もみあいの末、財布が抜きとられると同時に前の男二人は、やつとエスカレーターから離れた。私は後ろの男に財布を返せと叫んだがその男は「お前は何を言っているのか？」と言って相手にしない。その内自分の服を脱ぐ真似をして探してみると言い出す始末。私がエスカレーターから開放された時、下の階のエスカレーターに乗った少年が逃げ去るのがチラッと見えた。財布を抜き取った男は階下の少年に既に財布を渡した後であったようだ。

## 東京都美術館を訪ねて

七戸町 照井壽一



JR上野駅公園口で降り、少し早かったので九時半の開館まで上野恩賜公園の不忍池を散歩しながら時間調整しました。蓮の花の名所である七月中旬頃から開花し上野の夏の風物詩として親しまれています。私を訪れた八月上旬はもうです。

ていたようですが、それでもピンクと黄色の可憐な蓮の花を十分に満喫することができました。不忍弁天堂、東照宮にお参りした後、上野動物園前を通って東京都美術館へ足を運び、ルーヴル美術館全8部門が総力を挙げて地中海をテーマに企画した「ルーヴル美術館展」(地中海四千年のもの)がたりと鑑賞しました。本展覧会最大の注目作品、1808年にルーヴル美術館に収蔵されて以来、200年の時を経て初めて館外へ出品された「アルテミス、通称「ギヤビー」のディアナ」は、「清楚な容貌と肩に手をやる自然なたたずまいが美しい」とパンフレットに表現されていた通りの影像で展覧会場では誰でも女神の前で長い時間佇んでいました。アルテミスはギリシア神話で、狩りの女神、あるいは月の女神(ローマ神話ではディアナ)として語られていたようです。音声ガイドの助けを得ながら鑑賞したのですが正直申し上げて全うにおいて、ただただ圧倒されたというのが正直な気持ちです。

### ご利用案内

#### ◆開館時間

午前9時30分～午後5時30分  
(入館は閉館の30分前まで)

#### ◆休館日 毎月第1・3月曜日

#### ◆アクセス

- ・JR上野駅公園口より徒歩7分
- ・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩10分
- ・京成電鉄上野駅より徒歩10分

\*ご訪問の際は、東京都美術館のホームページの最新情報をご確認下さい。

# 「サントペテルブルク・パリ美術紀行8日間」

## 日 程 表

- 1日目** 平成26年5月9日(金)  
午後東北新幹線で出発→成田空港着→各自休憩・夕食  
21:55 AF277便で空路パリへ [機内泊]
- 2日目** 5月10日(土)  
パリ着03:50→休憩、朝食後乗り継ぎで  
10:20サントペテルブルクへ→15:35着後ホテルへ [サントペテルブルク泊]
- 3日目** 5月11日(日)  
エルミタージュ美術館鑑賞(ゴールデン・ルーム入場)  
[サントペテルブルク泊]
- 4日目** 5月12日(月)  
午前エカテリーナ宮殿観光、午後ヒョートル夏の宮殿の庭園と仕掛け洞窟観光 [サントペテルブルク泊]
- 5日目** 5月13日(火)  
サントペテルブルク市内観光  
16:30AF1053便でパリへ→17:55パリ着後ホテルへ [パリ泊]
- 6日目** 5月14日(水)  
ルーブル美術館鑑賞。フリータイム、オフショナルツアーをお楽しみ頂けます。市内レストランで夕食後、空港へ  
23:25AF278便で帰国の途へ [機内泊]
- 7日目** 5月15日(木)  
18:00成田空港着。成田エクスプレスで都内へ [都内泊]
- 8日目** 5月16日(金)  
午前中フリータイム。午後東北新幹線で帰郷、めでたく解散



エルミタージュ美術館外観  
(イメージ)

友の会設立20周年記念事業として第6回海外研修旅行「サントペテルブルク・パリ美術紀行8日間」をご案内いたします。

世界三大美術館のうち、エルミタージュ美術館とルーブル美術館という2大美術館を鑑賞するオリジナル企画ならではの美術紀行です。会員相互お誘い合わせの上、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

○ご旅行代金 349,000円

(燃油サーチャージは含みません)

○募集人員 35名(最少催行人員:20名)

○募集締切 平成25年12月27日(金)

○説明会 平成26年2月中旬(予定)

○問い合わせ先 鷹山宇一記念美術館友の会

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

- 特別会費員  
①(個人) 年会費 1万円  
②(個人) 年会費 1万円  
③(個人) 年会費 1万円  
④(個人) 年会費 1万円  
⑤(個人) 年会費 1万円
- 賛助会費員  
①(個人) 年会費 2万円  
②(個人) 年会費 2万円  
③(個人) 年会費 2万円  
④(個人) 年会費 2万円  
⑤(個人) 年会費 2万円
- 一般会費員  
①(個人) 年会費 3千円  
②(個人) 年会費 3千円  
③(個人) 年会費 3千円  
④(個人) 年会費 3千円  
⑤(個人) 年会費 3千円

- 友の会の事業内容  
①海外美術館視察旅行(年2〜3回)  
②海外美術館研修旅行(募集中)  
③美術品購入への協力  
④山崎記念美術館ボランティア協力  
⑤その他会館との連携  
⑥その他(美術講演会の開催等)
- おきに行、も添平  
願は寄、友鷹え素  
い美与、の山をから  
致術し、講宇いた  
し館演、の会だ  
ま館て、等記念美、の皆  
す窓等、は念美、誠、様  
。で所企、の術館に  
随存画、の皆館、有  
行ご、様、の、難  
っ微、に、喜、う  
りす、が、お、御  
ま、ら、地、願、座  
す、な、域、る、い、  
の、お、文、よ、し、  
で、更、化、う、ま、  
よ、新、の、研、  
ろ、手、発、修、  
く、続、展、旅、

友の会会員登録の更新と  
新規会員登録のお誘いのお願い

編集後記  
お届2020年夏  
・オリンピック  
・パリリンピック  
・東京オリンピック  
・開都東  
・京開都東  
・本が震災から  
・年半、五輪開  
・のが被災地の  
・の復興に力  
・祈るよう心  
・ついでに心  
・ご報告に  
・ご協力をお願い  
・し、(照井)

★ご意見・ご要望をお待ちしています。  
皆様のお便り、旅行記等をお寄せ下さい。  
ルブルク・パリ  
美術紀行  
定員にまだ余裕が  
皆様のご参加をお待ち  
合、お誘い  
美、お誘い  
合、お誘い